

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月13日更新

事務事業名		市有林保有事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	可徳精至
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	農政課	担当者名	松岡将司
	基本事業	90	公有財産の管理運営			所属班	農業振興班	(内線)	1165
予算科目	会計一般	款6	項2	目1	事業連番11150	法令根拠	成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・市有林の保育に関する事務、伐採等の委託植樹した樹木の成長と伴に、下草刈、枝打ち、間伐等が必要となった樹木は順調に育っているが、輸入材価格が安いために国内産木材需要が下がる一方である。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	伐採委託事務、負担金等の交付
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
間伐、下草刈、作業道下草刈、市有林の保険掛等	間伐・下草刈・作業道下草刈契約、市有林の保険掛等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 間伐面積	ha
イ 市有林保険掛け面積	ha
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市有林	→ ア 市有林面積
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正に管理し、木材の生産をする	→ ア 私有林からの収入金額
	→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
市有林の適正な管理をすることで良木材生産につながるため成果指標を「私有林からの収入金額」と設定した。目標値については、要間伐、枝打ち等の保育時期を森林施業計画において定めているため、計画に基づき23年度については竜門上虎口市有林・岳河原市有林・端辺市有林の間伐面積14.46haのため素材生産量等を考慮して5,000千円とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	ha	9.42	8.24	8	11.56	8	8	8
	イ	ha	182	182	182	182	182	182	182
② 対象指標	ア	ha	182	182	182	182	182	182	182
	イ								
③ 成果指標	ア	千円	3,649	5,544	5,000	5,066	5,000	5,000	5,000
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	203	1,914		2,489	740	740
		地方債	千円						
		その他	千円	3,998	2,121		4,397	889	889
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	4,213	4,451	1,768	1,945	5,442	5,000	5,000
(A) 事業費計	千円	8,414	8,486	1,768	8,831	7,071	6,629	6,629	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	1,071	1,127	1,045	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	408	408	408	1,020	408	408	408
	(B)人件費計	千円	1,632	1,623	1,623	4,202	1,680	1,680	1,680
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,046	10,109	3,391	13,033	8,751	8,309	8,309	

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	市有林保有事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 面積による素材生産量及び販売金がある程度決まっている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正に管理され有効活用がなされている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 管理面も含めて指定管理者制度を取り入れる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊池森林組合に事業委託をしており、合志市も組合員である。間伐や下草刈は工法的にも特殊であり事業費の削減は難しいが、5年間ぐらいの一括契約に変更すれば、成果を下げずに事業費を削減できるかもしれない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管理面も含めて指定管理者制度を取り入れる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者が特定されておらず公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公有財産管理のため適正

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度は赤崩市有林8.24haの間伐事業を行った。素材販売金の単価の により となった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						